



KARIMOKU NEW STANDARD Exhibition

“Out of the showroom - Into the home ”

KARIMOKU NEW STANDARD

“Out of the showroom - Into the home ”



日本を代表する木製家具メーカー、カリモク家具が 2009 年にスタートしたブランド、KARIMOKU NEW STANDARD。

国内外の気鋭デザイナーのアイデア、創業 70 余年の歴史が培った家具製作のノウハウと技術によって生み出すアイテムは、日常の暮らしに自然に溶け込み、革新性に満ち、楽しく、そして機能的なプロダクト。世界中のさまざまな空間や生活スタイルに取り入れることのできるアイテムです。2010 年から販売をスタートし、日本だけでなく、アジア、ヨーロッパ各国やアメリカでも展開しています。

さて、今年もまた楽しみな東京の秋のデザインウィークが近づいてきました。KARIMOKU NEW STANDARD は、誰もが気軽に立ち寄りくつろげる “空間” を青山のギャラリー内につくり、みなさんをお迎えします。友人や偶然に出会った人と会話がはずんだり、ちょっと休憩したり そんなリアルな時間が流れる KARIMOKU NEW STANDARD の空間に、ぜひ遊びにいらしゃってください。

これまでのコレクションのナチュラルカラーのシリーズなど、新作もお披露目致します。

ぜひご注目くださいますようお願い致します。

OUTLINE



会 期：2013 年 10 月 31 日（木） - 11 月 4 日（月）

オープン時間：11:00 - 20:00（11 月 4 日は 18:00 まで）

会 場：ライトボックススタジオ 青山
東京都港区南青山 5-16-7

プレスプレビュー：2013 年 10 月 31 日（木） 10:00 - 14:00

オープニングパーティー：2013 年 10 月 31 日（木） 18:00 - 21:00

*ライトボックススタジオの 1F ではフィンランドの家具メーカー artek、
3F では 2012 年にスタートしたイタリアの家具メーカー DISCIPLINE が
同じ期間にエキシビションを開催いたします。

PRESS CONTACT

取材や掲載のご希望、ご質問などがございましたら下記までお問合せ下さい。

竹形 尚子（デイリープレス） tel. 03-5771-7277 / 090-1531-6268 email. naotakegata@dailypress.org

NEW LAUNCH :



Castor Table pure oak



Castor Shelf pure oak



キャストールシリーズに新しくテーブルの展開がスタートします。
また、シリーズの既存アイテムのカラー展開にプレーンが加わります。
design: BIG-GAME



カラーウッドシリーズに新しくダイニングテーブルの展開がスタート。
また、シリーズの既存アイテムのカラー展開に、プレーンが加わります。
design: Scholten&Baijings



ほか、今年のミラノサローネで世界に向けて発売をスタートした新作も
ご覧いただけます。

about KARIMOKU NEW STANDARD

世界が求める新しい普遍

KARIMOKU NEW STANDARD は、創業 70 余年の歴史を誇るカリモクが、国内外で活躍する気鋭デザイナーたちとともに、2009 年にスタートしたブランドです。日常の暮らしに自然に溶け込む、革新性に満ち、楽しく、そして機能的なプロダクトを通じ、時代が求める普遍性とは何かを追求し続けています。

自然と共生するテクノロジー

創業以来 70 余年、森の恵みを受け成長してきたカリモク家具は、森林保全や林業地域の活性化など、日本の森が抱える課題に、木製家具メーカーとしてできることは何か？を考え続けてきました。KARIMOKU NEW STANDARD は、サステナブルな木材利用を通じて、森そして地球環境のバランスを取り戻すための、新たな挑戦でもあります。カエデ、クリ、ナラなど、主に紙パルプ原料のチップにされ、有効活用されることがなかった国内の広葉樹を材料に用いたのも、そのためです。伝統が培った家具製作のノウハウと革新的なテクノロジー、そして森の豊かな恵みを次世代へ、という想い。KARIMOKU NEW STANDARD には、それらがしっかりと息づいています。

www.karimoku-newstandard.jp



デザイナー



ショルテン&バーイングス／オランダ

ステファン・ショルテン（1972）とキャロル・バーイングス（1973）により、2000 年デザインスタジオを設立。細やかなリサーチによりモノの背後に潜む、文化的、芸術的コンテキストを探りながら、鮮やかな色彩と現代的な幾何学模様を巧みに使い、完成度の高いデザインを生み出す
www.scholtenbaaijngas.com



BIG-GAME／スイス

グレゴワール・ジャモノ（1978 スイス）、エリック・コプティ（1978 ベルギー）、オガスティン・スコット・ドゥ・マルタンヴィル（1980 フランス）が2004年設立。3 名ともローザンヌの ECAL で教鞭を執っている。「衝突こそ進化を生み出す」というコンセプトのもと、出身地も考え方も異なるメンバーの力を見事に昇華させ、モノの形、機能、そして存在意義に新たな解釈を与えている。www.big-game.ch



シルヴァン ウィレンツ／ベルギー

1978 年ベルギー・ブリュッセル生まれ。アメリカ、イギリスと渡り住み、2003 年ロンドンの RCA を卒業。翌年、ブリュッセルで自身のスタジオを設立。素材や製造プロセスに実直に向き合いつつ、分かりやすい手法でデザインを導きだす。Established& Sons（イギリス）、Tamawa（ベルギー）、HAY（デンマーク）、など各国のブランドのデザインを手掛けている。
www.sylvainwillenz.com



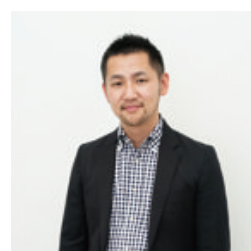
TAF／スウェーデン

建築とデザインを学んだガブリエラ・グスタフソンとマティアス・ストールボムによって、2002 年ストックホルムに設立。建築やデザインの存在、そして機能がどれほど日常生活において、主張しすぎることなく、効果的に影響するか。自身の普遍的な提案が、特別な状況をうみだすかということを念頭に活動を続けている。
www.tafarkitektkontor.se



ECAL／ルシアン・ギュミ／スイス

1988 年スイス生まれ。家具製作のトレーニングを積んだ後、ECAL に入学。プロダクト&インダストリアルデザインの二つの学科を専攻しながら、綿密で論理的なソリューションを求めるデザイン手法を手がける。在学二次次に ALESSI との共同プロジェクトでデザインしたカードスタンド「Berra」が KARIMOKU NEW STANDARD の目に留まり、2012 年のミラノで正式なデザイナーデビューを果たす。www.ecal.ch



柳原 照弘／日本

1976 年香川県高松市生まれ。2002 年に自身のスタジオを設立。完成されたモノの形だけでなく、"デザインする状況をデザインする"ことが重要であるという考えのもと、プロダクトから空間まで、ジャンルを超えたプロジェクトを手がける。OFFECCT（スウェーデン）や PALLUCCO（イタリア）等、国外のプロジェクト多数。KARIMOKU NEW STANDARD では立ち上げ時から 2013 年 2 月まで全体のアートディレクションを担当。teruhiroyanagihara.jp



カリモクデザインチーム／日本

カリモク家具インハウスデザイナー。それぞれのデザインを手がけると同時に、社外デザイナーたちの技術的なサポートも担当。これまでの社内の常識や品質要件を前提としたデザインからの脱却を目指しつつ、ブランド全体のデザイン性と製品のクオリティを高いレベルで両立させるべく、チャレンジしている。www.karimoku.co.jp

クリエイティブ・ディレクター



ダヴィッド・グレットリ／日本

1977 年スイス生まれ。ECAL を卒業後、チューリッヒでデザインおよびデザインマネジメントに従事。2008 年より活動の拠点を日本に移し、KARIMOKU NEW STANDARD の立ち上げ当初より柳原照弘とともにデザインディレクションに関わってきた。2013 年 3 月より、同ブランドのクリエイティブディレクターに就任。

カリモク家具株式会社

日本の木製家具のトップメーカーであるカリモクの歴史は、江戸時代から続く木材屋を継いだ加藤正平が 1940 年に愛知県刈谷市に創業した木工所に始まります。40 年代は戦後の復興を支えた紡績機、50 年代にはミシンテーブルやピアノ、脚付テレビ台用の木工部品の下請けを通じて、木工加工と塗装技術を蓄積。60 年代初めに、念願の国内向けオリジナル家具を世に送り出しました。

それ以来、産地に拠点を設けることで木材の安定供給を実現し、職人の技や感性が最も発揮できるよう大規模かつ高度な生産設備を導入し、メイド・イン・ジャパンのカリモク流「ハイテク&ハイタッチ」を追求しています。また、販売及びアフターケアについては、国内全域をカバーする体制を確立。資材調達から製造・販売までを自社グループ内で手がけるという、世界にも類を見ないカリモクグループ独自の体制を構築・発展させてきました。また、環境保全を意識して 30 年以上も前からパラウード（樹液採取済みのゴムの木）の改質と活用に取り組むなど、広く人間生活の向上に貢献する企業たるべく挑戦を続けています。
www.karimoku.co.jp